

文部科学大臣 町村信孝 様
原子力委員会委員長 藤家洋一 様

ITER（国際熱核融合実験炉）の日本誘致についての質問書

原子力委員会は3月中にも、ITER（イーター）の国内誘致の是非を最終的に判断し、その決定に基づき文部科学省が北海道苫小牧市、青森県六ヶ所村、茨城県那珂町の三つから我が国の誘致地点を選定しようとしています。今年の夏には、日本、EU、ロシアの3極が国内誘致の是非を表明し、建設地点を決定する手はずになっています。

原子力委員会は、核融合発電が地球環境問題を解決するものと位置づけITER計画を推進しています。他方では、核融合の実用化はできても21世紀後半になるとして、その投資は未来への「保険」だと述べています。

たとえ核融合発電に成功しても、地球温暖化に対する対策は50年以上先ではとても間に合いません。最近の研究は、温暖化がハイテンポで進行し地球環境に重大な影響を与つつあることを明らかにしています。先進国は今すぐに温室効果ガス排出の厳しい削減にとりかからなければならないのです。成功するかどうかもわからない巨大プロジェクトに5000億円以上の巨額の資金を使うべきでしょうか。もっと意味のある実効性の伴った温暖化防止対策に予算を投入すべきです。

ITERは燃料として放射性物質のトリチウムを使い、プラント内に4kgを保有しています。事故でトリチウムが漏れた場合、数km以内の住民の被曝線量が公衆の被曝限度を遙かに超える恐れがあります。また、放射化ダストが飛び散り、トリチウムと同程度に住民を被曝させる事故の危険もあります。

核融合炉は原子炉とは違ったタイプの大事故の危険をはらんでいます。高速の中性子の照射、何億度という高温、強大な磁気エネルギーの制御は極めて難しく、炉の急激な破壊に結びつく可能性もあります。温度の急上昇による冷却剤ヘリウムの爆発や水素の火災・爆発も起こりうる危険です。これらの事故は住民の被曝に結びつきます。

ITERを20年間運転すると4万トンの低レベル放射性廃棄物（クリアランスレベルを除く）ができると見積もられています。これは原発の解体時に発生する低レベル廃棄物の数倍にもなります。それは科技庁の試算でも100年間の管理が必要で、そのうち1万トンはさらに長期の管理が必要です。その処理・処分を地元で行うことが誘致の条件にされていることが最近明らかになり、誘致運動を進めてきた自治体に動揺が広がっています。

トカマク方式による核融合実験炉の建設を巨額の資金を投じて行うべきかどうかについても、内外の研究者の中で意見が一致していません。とくに、物理学者から慎重さを求める意見が表明されています。また、1998年に米国はすでにITERから撤退しています。

このように重大な問題点を抱えるITERを推進すべきかどうか、日本に誘致すべきかどうか、政府と自治体、一部の研究者だけで決めてよいものでしょうか。すべての情報を明らかにし、日本に住む人全体の意見を聞き、選択を待って決定すべきではないでしょうか。

私たちは以下の点について誠意ある回答を求めます。

質問事項

- 1、核融合は地球環境問題を解決しますか。核融合についてどういう見通しをもっていますか。
核融合発電、とくにトカマク方式の実現可能性、まだ実現しない理由を示して下さい。
核融合は、21世紀のエネルギー問題を解決しますか、明らかにして下さい。
核融合は、地球温暖化解決の切り札になるのか、別の解決が急がれるものではありませんか。
- 2、核融合はクリーンなエネルギーですか
トリチウムによる放射能汚染と被曝の評価を示して下さい。
放射化ダストによる放射能汚染と被曝の評価を示して下さい。
- 3、核融合は安全なエネルギー源ですか
中性子照射、高温による炉の劣化の評価を示して下さい。
プラズマの突然の崩壊による容器への衝撃の評価を示して下さい。
温度の急上昇による冷却剤ヘリウムの爆発の危険性を評価して下さい。
水素、重水素、トリチウムの爆発・火災の危険性の評価を示して下さい。
- 4、住民の被曝は避けられますか
日常運転時の被曝源と被曝線量の見積もりを示して下さい。
いかなる事故を想定していますか。トリチウム、放射化ダストの放出量、気象条件、住民の被曝線量などを明らかにして下さい。
防災対策の内容を具体的に示して下さい。施設周辺の「非居住地域」、「緊急時計画区域」はどのように設定しますか。
- 5、放射性廃棄物はどのように処理・処分しますか
20年間運転後の放射性廃棄物のレベルと各レベルの発生量・核種を明らかにして下さい。
クリアランスレベルの金属やコンクリートの量とその処理方法を明らかにして下さい。
放射性廃棄物（高ベータ・ガンマ廃棄物、トリチウム汚染物等）の処分の方法と場所を示して下さい。
現地での処理・処分が誘致の条件かどうか、明らかにして下さい。
作業者の被曝はどの程度になりますか。
- 6、財源と国民（住民）的合意に関して答えて下さい
日本で建設する場合の本体の建設費は5000億円ですみますか、本体以外の費用はいくらですか。そのほかの運転・維持などの必要な費用はいくらですか。
財源はどこから支出されるのですか。国、地方のどこが出しますか。
巨大プロジェクト推進には国民（住民）的合意が必要ではありませんか。
科学者・研究者の間での異論をどう考えるのですか。
核融合が地球環境問題の重要な解決手段だということでは、原子力委員会と環境省や資源エネルギー庁との間に具体的な見解の一致がありますか。
誘致の候補地点の住民をはじめ国民（住民）の合意をどのようにはかっていきますか。

共同提出団体・個人 （３月２１日現在、集約中）

地球救出アクション９７

I T E R の 苦 東 誘 致 に 反 対 す る 会

消費生活を考える会(苫小牧市)

核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会

原子力資料情報室

たんぽぽ舎

未来を考える会

日本山妙法寺

きのこの会

放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜

多治見を放射能から守ろう！市民の会

京都原発研究会

若狭連帯行動ネットワーク

ヒバク反対キャンペーン

科学技術問題研究会

反原発神戸地区研究者の会

槌田 敦

小坂 浩